

みよし市単独で火葬場を整備する方針を決定しました vol.2



ホームページ

企画政策課
☎32-8005
☎76-5021

先月号に引き続き、火葬場に関する特集です。今回は、本年度に策定する火葬場整備基本構想と基本計画に関する概要、近年の火葬場の現状、進化する火葬場の在り方についてまとめました。

火葬場整備基本構想および基本計画を策定します

市民の皆さんが火葬待ちの影響を受けることなく、亡くなった人を落ち着いて見送ることができるように、また本市として責任を持って、将来にわたって安定した火葬を提供できるように、本市単独で火葬場を整備する方針を決定しました。令和7年度から火葬場整備基本構想および基本計画を策定するとともに、建設候補地の選定に着手していきます。

基本構想

基本方針

用地選定

市が目指す望ましい火葬場を定める

市民ニーズなどを踏まえながら火葬場整備に向けた課題抽出を行うとともに、火葬場整備に関する基本的な考え方や方向性を示す**基本方針**(建設候補地に関する条件含む)を定める

基本計画

目指すべき火葬場に必要な基本的事項を定める

火葬場の設計・工事を進める上での基本的な事項を定めた計画であり、利便性・機能性・周辺環境などの観点から「火葬場の規模や機能」「整備スケジュール」「概算工事費」「事業手法」などの条件を整理する

ひっ迫する火葬場

近年、増加する火葬需要に対して市民の火葬を優先する「市民優先制度※」を導入する火葬場が増えており、令和7年4月から豊田市古瀬間聖苑においても市民優先制度が導入されました。みよし市民は豊田市民と同様に市民優先制度の対象となっていますが、この制度の対象であっても2030年には火葬能力を超えることが予想され、火葬待ちなどの影響が出てくる可能性があります。

▼火葬待ちが発生することで考えられる影響

- 希望する日に予約ができず、葬儀のスケジュールがなかなか決められない
- 希望する時間帯での火葬ができない
- 火葬するまでご遺体を安置するための追加費用が必要となる(都市部では、既に10日以上火葬待ちが発生している)
- 近くの火葬場が予約できず、遠くの火葬場を利用する場合、移動などに多くの時間と費用がかかる

※市民優先制度…火葬利用について、市民と市民以外で予約できる日数に差を設けたり、市民以外が利用できる時間帯を制限したりする制度です。

現在のニーズに沿って進化する火葬場

近年の火葬場は、煙や臭いが発生しない高度な排ガス処理設備を導入し、再生可能エネルギーを積極的に取り入れた、環境に配慮した施設となっています。施設の外観も一見して火葬場と分からないような雰囲気となっており、木材を基調とした内装で自然光を取り入れた、明るく温かみのある開放的な施設も増えています。また、プライバシーを確保するために、お別れ室(告別・収骨室)や待合室は一遺族ごとに個室を設け、他の会葬者とはできる限り交錯することのないよう、遺族が落ち着いて心穏やかに過ごせるように配慮されたつくりとなっています。さらに、地域に開かれた火葬場というコンセプトの下で多目的利用が可能なスペースを併設したり、防災拠点としての機能を兼ね備えていたりする火葬場もあります。本市で整備する火葬場も、市民に愛される火葬場となるよう検討を進めてまいります。



おこせ
越生斎場(埼玉県)外観



越生斎場(埼玉県)ラウンジ



い
伊賀市斎苑(三重県)告别収骨室



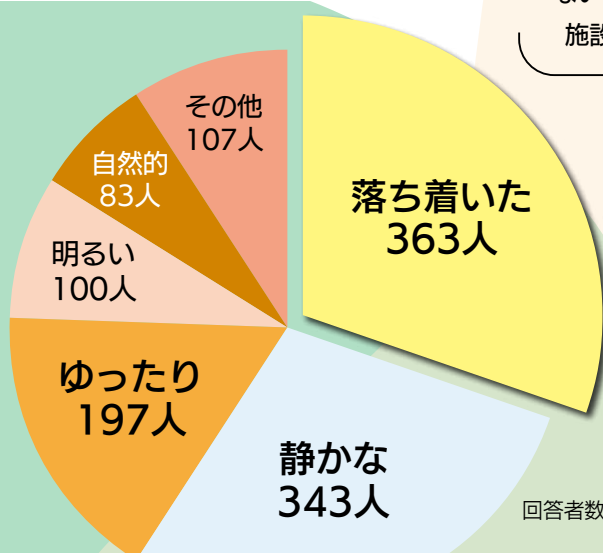
伊賀市斎苑(三重県)待合ロビー

近年の火葬場
(各公式サイトから)

今後の火葬場に望むこと

令和6年度に実施した、火葬場の在り方に関する市民アンケートでいただいた市民の皆さんの回答や意見から抜粋しています。

Q 火葬場の雰囲気についてふさわしいと思うものはどれですか？(複数回答可)



～ 自由回答でいただいたご意見 ～

明るく親しみの
ある雰囲気

最期の時をゆっくり過ごしたいと
いう気持ちも尊重してもらいたい

故人は自分のふるさとで火葬
された方が幸せではと感じます

静かで心穏やかにお別れ
できる場所であって欲しい

他の利用者とあまり接点の
ないように、ゆとりのある
施設がいいと思います

市内にあって、市民にとって、近
くて待たずに火葬できた方がいい



アンケート結果は
こちらをご覧ください▶



ホームページ